

# 令和5年度学校教育の努力点研究の取り組みについて

## 1 主題

とことん追究、選択し、学び続ける旭出っ子の育成  
—子どもたちが学び合う授業・環境づくりを通して—

## 2 主題について

昨年度の努力点では、「知りたい」「考えたい」という思いがあふれる旭出っ子の育成を目標として、主にICT機器を活用し、主体的に学ぶことができる授業づくりを目指して授業実践に取り組んできた。各教科において、「子どもがめあてをつかむための工夫」や「子どもが自分の考えをもち、課題の解決に取り組むための工夫」に重点を置いて進めてきました。

しかし、活動する中で、ペア・グループによって、「知りたい」「考えたい」という気持ちまで至らなかったり、ICTの操作で手間取り、深い学びにつながらなかったりしたこともありました。これは、もっと「知りたい」「考えたい」という気持ちを抱いていても、時間の制約やみんなと同じペースで学ぶのが難しい、苦手であるなどのことが原因となり、そこから「探究」しようという意欲が持続しないのではないかと考えました。

令和5年度の名古屋市学校教育の努力目標は「ともに学び 自分らしく生きる」とされています。「子どもは有能である」という名古屋市が掲げる教育観を前提に、子どもが、自分に合った課題、自分に合った調べ方を自身で選び、友達や地域の人、ゲストティーチャーなどと学び合う姿を教師がサポートしていくことが必要です。そうすることで、これまで以上に主体的に学ぼうとする旭出っ子を育てていくことができると考えます。

## 3 努力点研究推進の方法

### (1) 授業実践の取り組み

目指す子どもの姿に迫るために、以下の2点に重点を置いて取り組んでいきます。

#### 子どもが学び合う授業づくり

- ・ 児童が自分の考えや疑問、気付きなどをペアやグループで話し合い、自分や友達の考えを練り上げたり、振り返ったりすることでそれぞれの考えおよさに気付くことができるように学習活動を工夫します。

#### 子どもが学び合うことができる環境づくり

- ・ 学習活動中のきまりや発言する際の話型、ハンドサインを示し、子どもたちが、共通もきまりの中で学ぶことができる学習環境づくりを工夫します。

### (2) 家庭・地域との連携

児童にも保護者にも推進の内容を広報し、学年だより・学校だより・学校ホームページ等で進捗状況を定期的に載せていきます。